

# 厚木市地域福祉計画（第7期）の策定方針（変更たたき案）

## 1. 計画策定の基本的な考え方

厚木市地域福祉計画（第6期）が令和8年（西暦2026）年度を持って満了を迎えることから、第6期における成果と課題を踏まえ、令和9年度を始期とする本計画を策定する。

高齢者、障がい者、子どもや若者など全ての住民が抱える課題やニーズはますます複雑化・多様化しており、地域住民・行政が連携して活動し 相談や支援などを通じて解決を図って行く為の福祉計画として策定する。

### 1) 位置付け

社会福祉法第107条に規定する市町村地域福祉計画であり、厚木市総合計画の地域福祉分野の統合計画として福祉全般を統括する。

高齢者、障がい者については個別計画を別途策定する。

### 2) ありたい姿

誰もが住み慣れた地域で自分らしい**明るい**暮らしを人生最後まで続けることができる社会

### 3) 基本理念（従来から変更なし）

見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり

### 4) 基本目標（従来から変更なし）

ア 住民の絆が深まり、地域で支え合う共生のまち

イ 互いに認め合い・・・

ウ 地域社会との・・・

## 2. 現状と課題

### 1) 地域社会のつながりの希薄化

単身世帯の増加、自治会加入率の低下、SNS を通じた交流の増加などにより  
地域の人との関わり、つながりが希薄化している。

<令和6年厚木市市民実感調査で地域の人と関わりがあると思う人の割合>

令和6年 55.3% (令和5年 57.1%) ▲1.8%

従来のお取り組みの延長ではない、新たな取り組みが必要となる。

### 2) 支援ニーズの増加と多様化

ヤングケアラー問題の顕在化、8050問題(老老介護)、自殺人員数の増加(?),  
引きこもりの増加(?)など 地域住民が抱える課題が複雑化、多様化する中、  
これまでの相談・支援の枠組みだけでは対応・解決困難な事例が増加している。  
具体事例) 地域包括ケアセンター相談数、解決数低下 (?現状把握必要?)

関連する機関同士の連携強化、役割分担の見直しなどを通じた支援体制の  
再整備、強化が必要となる。ただし限られた予算を有効に活用するための  
検討配慮が求められる。

### 3) 高齢者、障がい者 (特にメンタル) の増加

ア 高齢者; 令和27年にピークを迎え、かつ85歳以上の方の人口は継続して  
増加することが見込まれている。

高齢化の更なる進展による 生活面の支援強化に合わせ、健康寿命の拡大、

認知症など傷病を未然に予防・減らして行くなどの取組み強化が必要となる。

- イ 障がい者；身体障がい者は漸減傾向なるものの、療育（知的）及び精神障がい者が継続して増加し 令和22年総数で12874名と見込まれる。  
障がいがあっても普通に社会生活を営めるように、周囲の理解を得つつ、  
住みやすい生活環境の整備も継続促進してゆく取組みが必要となる。

高齢者は高齢者保険福祉計画で、障がい者は障がい者福祉計画で活動を具体化する。

### 3. 考慮すべき視点

#### 1) つながりネットワーク強化

地域住民一人一人が自らの居場所がある、社会に貢献、活躍できていると感じられる環境作りと機会の場の提供をはかり、つながりネットワーク強化を支援する。

#### 2) 相談窓口の認知度向上、相談しやすさの改善

困り事を抱えている人が身近に感じ相談しやすい窓口があると理解し、活用していただけるような改善を進める。

重層的支援体制（？）→ 単独の機関では解決が難しい相談事は関係機関で定期的に情報交換し協働で解決を図る活動を強化する。

#### 3) 既存支援方策の啓蒙、利用促進強化

成年後見制度、こども子育て支援、

4) 既存支援策の見直し

真に困っている人、声を上げられない人に必要な支援は何か、関係機関の経験やノウハウを共有、活用して 検討を進める。

(懸念点1)

権利擁護の推進の必要性がわかり難い

自殺対策が出てこない。(自殺者が増えている??)

再犯防止の取り組み推進の必要性がわかり難い。(再犯者が増えている?他市より多い?)

子ども貧困解消対策が出てこない。(子ども食堂利用者が増えている?)

→現状を公開することへの抵抗があるのであれば、活動そのものを単独の活動名にするのではなく、多種支援の中で包含される形にされたら如何ですか。

→単独の活動項目にされたいのであれば、もう少し現状と課題をオープンにしないと一般の方々には必要性を理解され難いと思います。

(懸念点2)

皆が夢を持って生活できる楽しい(住みたい)厚木の街を目指す 視点が弱く、

ケアが必要、ケアをします との論調が強い。生活が大変な人達が沢山いらっしゃるの  
理解した上で 健康寿命を伸ばし、明るく暮らしていきたいですねのスタンスで活動を  
推進できませんでしょうか。